

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鹿児島中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人慈愛会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	3年課程看護科	夜・通信	2,617 単位時間	240 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kachukan.ac.jp/images/contents/pdf/3year/work_experience.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	鹿児島中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人慈愛会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	2020年4月1日までに、外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程の整備を確実に実施する

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
未定		
未定		
(備考) 2020年4月1日までに、複数の外部人材の選任を確実に実施する		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人慈愛会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名 ・時間数 ・単位数 ・時期 ・学習形態 ・講師名 ・科目概要 ・科目目標 ・授業計画(学習内容) ・成績評価 ・事前学習関連科目 ・履修条件 ・使用テキスト参考文献等 ・実務経験のある教員による授業科目 ・その他 <p>授業計画(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門領域担当の教員にシラバス内容の記載項目・内容の確認を依頼 ・教務主任がシラバス内容の検討・修正について外部講師を含む授業担当者に説明依頼 ・授業担当者がシラバス提出 ・各専門領域担当者及び教務主任が、提出されたシラバス内容を確認。 ・シラバスに不備があった場合は再提出を依頼 ・該当授業担当者が再度シラバス提出 ・各専門領域担当者及び教務主任が再確認 ・シラバス完成 <p>授業計画(シラバス)の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成時期：12月～3月 ・公表時期：4月 	
授業計画書の公表方法	<p>シラバスは学校に備え置き閲覧請求があった場合誰でも閲覧可能。2020年4月より下記URLでの公表に向けて準備中。</p> <p>https://www.kachukan.ac.jp/indicator.html</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各学生が履修した科目の学習成果を、シラバスに記載している学習目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価することで、厳格かつ適正に単位を授与している。

当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で優に該当する能力・技能）を具体的な学習目標到達とし、目標到達を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表、実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績の評価方法

- ・授業科目の規定時間の3分の2以上の出席したものは評価を受けることができる
- ・すべての科目の成績を100点満点で点数化
- ・点数により優・良・可・不可の評価
- ・優・良・可の評価で合格とし単位の取得を認定する
- ・履修評価の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を客観的な指標として設定している

成績の評価基準表

評価	取得点	判定
優	100点～80点	合格
良	79点～70点	合格
可	69点～60点	合格
不可	60点未満	不合格

成績の分布状況の把握

成績分布表を作成し状況を把握

「例」

取得点	～59点	～69点	～79点	～89点	～99点	100点	計
人数	0	1	4	31	4	0	40

その他、科目点数の平均点が非常に高い科目、低い科目については一つの授業評価として、担当講師と教授方法の工夫、終講試験内容の検討等を相談し次年度の授業に活用している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.kachukan.ac.jp/indicator/350-2019-07-22-05-09-11.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では次の「期待される卒業生像」を目指して、学生が看護師として必要な知識及び技術を習得するとともに、学生の主体的な学びと意欲によって、十分な判断力と問題解決能力及び創造性を体現できる、豊かな人間性を兼備えた看護専門職者として、社会に貢献しうる有能な人材となることを重視し、成績評価を行い所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定し、専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

【期待される卒業生像】

- ◇人間は、普遍的ニードをもつ個別的・自立的存在であり、生涯にわたって成長・発達する生活者であると捉えることができる。
- ◇望ましい健康状態とは、自己実現を目指し、環境に適応している状態であると理解し、個々人の健康を看護の目標に置くことができる。
- ◇看護の役割は、看護の対象に対する、身体的ケア、心のケア、教育的関わりであると理解し、科学的根拠に基づき、対象の安全・安楽・自立を保障する看護を実践できる。
- ◇医療倫理・看護倫理に基づく医療専門職として、自覚と責任を持った行動ができる。
- ◇人々の多様な価値観を認識し、豊かな感性と共感的態度で、家族を含めた対象と良好な人間関係を築くことができる。
- ◇保健・医療・福祉の現状と課題を、社会の動向との関連性の中で考察し、人々がセルフケア能力を高めるために必要な社会資源の活用を支援できる。
- ◇医療専門職として看護の専門性と自立性を発揮し、医療関係職種・福祉関係職種との適切な役割分担と連携のもとに、チームメンバーとしての責務を果たすことができる。
- ◇専門職業人としての向上心と、看護を継続して探究する姿勢を持ち、看護実践の厳しさとともに、悦びと充実感を感じ、看護職に魅力と将来への希望を抱ける。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.kachukan.ac.jp/indicator/351-2019-07-22-05-09-38.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鹿児島中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人慈愛会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kachukan.ac.jp/indicator/352-2019-07-22-10-12-50.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	財産目録・事業報告書については法人事業本部に備え置き、業務時間内に閲覧請求があった場合、閲覧させる。 (公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第21条)
事業報告書	
監事による監査報告（書）	https://www.kachukan.ac.jp/indicator/352-2019-07-22-10-12-50.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	3年課程看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,045 単位時間	2010 単位 時間	講義時 間数の 内 132 単位時 間	1035 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,045 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		134 人	人	13 人	73 人	86 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画（シラバス）の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・科目名 ・時間数 ・単位数 ・時期 ・学習形態 ・講師名 ・科目概要 ・科目目標 ・授業計画(学習内容) ・成績評価 ・事前学習関連科目 ・履修条件

- ・使用テキスト参考文献等
- ・実務経験のある教員による授業科目
- ・その他

授業計画（シラバス）の作成過程

- ・各専門領域担当の教員にシラバス内容の記載項目・内容の確認を依頼
- ・教務主任がシラバス内容の検討・修正について外部講師を含む授業担当者に説明依頼
- ・授業担当者がシラバス提出
- ・各専門領域担当者及び教務主任が、提出されたシラバス内容を確認。
- ・シラバスに不備があった場合は再提出を依頼
- ・該当授業担当者が再度シラバス提出
- ・各専門領域担当者及び教務主任が再確認
- ・シラバス完成

授業計画（シラバス）の作成・公表時期

- ・作成時期：12月～3月
- ・公表時期：4月

成績評価の基準・方法

（概要）

成績の評価基準表

評価	取得点	判定
優	100点～80点	合格
良	79点～70点	合格
可	69点～60点	合格
不可	60点未満	不合格

成績の評価方法

- ・授業科目の規定時間の3分の2以上の出席したものは評価を受けることができる
- ・すべての科目の成績を100点満点で点数化
- ・点数により優・良・可・不可の評価
- ・優・良・可の評価で合格とし単位の取得を認定する
- ・履修評価の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を客観的な指標として設定している

卒業・進級の認定基準

（概要）

本校では次の「期待される卒業生像」を目指して、学生が看護師として必要な知識及び技術を習得するとともに、学生の主体的な学びと意欲によって、十分な判断力と問題解決能力及び創造性を体現できる、豊かな人間性を兼備えた看護専門職者として、社会に貢献しうる有能な人材となることを重視し、成績評価を行い所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定し、専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

【期待される卒業生像】

- ◇人間は、普遍的ニードをもつ個別的・自立的存在であり、生涯にわたって成長・発達する生活者であると捉えることができる。
- ◇望ましい健康状態とは、自己実現を目指し、環境に適応している状態であると理解し、個々人の健康を看護の目標に置くことができる。
- ◇看護の役割は、看護の対象に対する、身体的ケア、心のケア、教育的関わりであると理解し、科学的根拠に基づき、対象の安全・安楽・自立を保障する看護を実

<p>践できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇医療倫理・看護倫理に基づく医療専門職として、自覚と責任を持った行動ができる。 ◇人々の多様な価値観を認識し、豊かな感性と共感的態度で、家族を含めた対象と良好な人間関係を築くことができる。 ◇保健・医療・福祉の現状と課題を、社会の動向との関連性の中で考察し、人々がセルフケア能力を高めるために必要な社会資源の活用を支援できる。 ◇医療専門職として看護の専門性と自立性を発揮し、医療関係職種・福祉関係職種との適切な役割分担と連携のもとに、チームメンバーとしての責務を果たすことができる。 ◇専門職業人としての向上心と、看護を継続して探究する姿勢を持ち、看護実践の厳しさとともに、悦びと充実感を感じ、看護職に魅力と将来への希望を抱ける。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年目標、学習支援計画を立案し、学生と内容を共有して授業外の学習支援を実施。 ・看護資格取得に向けて国家試験学習支援パスにのっとり、3年間、目標に向かって学習できるように支援。必要時は個別学習支援を実施。 ・年3回の長期休暇前には成績順位や再試験科目、出席状況を集計し学生保護者に文書で公表し、その後の学習方法のアドバイスなどを実施。 ・年度途中で学業不振、生活面や精神的理由で学習意欲が感じられない場合等は、学生面談や保護者を交えての面談、本校非常勤のカウンセラーによるカウンセリングなどで学業継続できるように支援を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 (%)	37人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 公益財団法人慈愛会など県内医療機関に就職33人、県外医療機関に就職4人			
(就職指導内容) 公益財団法人慈愛会就職説明会参加、面接指導実施など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格取得（平成29・30年度看護師国家試験合格率100%）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
132 人	1 人	0.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談や保護者面談、カウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他 (年間)	備考 (任意記載事項)
3年課程 看護科	100,000 円	660,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
公益財団法人慈愛会奨学金				
希望者には月額 50,000 円の奨学金貸与。卒業後直ちに看護師として公益財団法人慈愛会が経営する施設へ赴任した場合、奨学金貸与期間と同じ業務従事期間を以て返済を全額免除する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kachukan.ac.jp/aboutus/self-evaluation.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>本校は、その教育の一層の充実を図り、教育理念および教育目的を達成するため本校の教育活動その他の学校運営の状況について、次の 1～12 の項目について自ら点検及び評価を行いその結果を踏まえ、2 名以上の本校関係者（教育に関し知見を有する者、保護者等）による評価を行い、その結果を教育活動等に活用するとともに公表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育理念・教育目標 2. 学校運営 3. 教育活動 4. 学習効果 5. 学習支援 6. 教育環境 7. 学生の受け入れ 8. 財務 9. 法令の遵守 10. 社会貢献・地域貢献 11. 国際交流 12. 研究・研修活動 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、2020 年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		

学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施・公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kachukan.ac.jp/
--